

2021年10月29日

各 位

会 社 名 株式会社ヒガシトゥエンティワン  
代表者名 取締役代表執行役社長 児島 一裕  
(東証第二部：9029)  
問合せ先 取締役常務執行役 田口 宗勝  
TEL：06-6945-5611

### 通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月12日に公表した「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の通期業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正について

2022年3月期 通期連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	1,241	1,300	818	63.04
今回修正予想(B)	26,500	1,300	1,450	910	69.50
増減額(B-A)	500	58	150	91	—
増減率(%)	1.9	4.7	11.5	11.2	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	24,436	1,022	1,287	666	51.33

2022 年 3 月期 通期個別業績予想 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,550	870	565	43.54
今回修正予想(B)	18,850	920	590	45.06
増減額(B-A)	300	50	24	—
増減率(%)	1.6	5.7	4.3	—
(ご参考)前期実績 (2020 年 3 月期)	19,042	945	473	36.43

修正の理由

当第 2 四半期（累計）会計期間は、前連結会計年度から継続して、自動車関連や半導体関連メーカーの生産減速に伴う物流量減少は続いているものの、e-コマース向け、インフラ会社向け 3 P L 事業における物流量や、IT サービス事業における GIGA スクール構想に伴う PC キット業務の受託量等が、想定を大きく上回りました。また、コロナ禍でも高い収益性を実現するため、前連結会計年度より本社間接経費を徹底して抑制したことにより、損益分岐点引き下げの効果が大きくなっております。

結果として、当第 2 四半期（累計）会計期間の実績は、売上、利益共に予算を超過いたしました。

下半期は、10 月より開始したインフラ会社向け資材調達 3 P L 事業への初期投資費用や中期的な成長を牽引する重点事業領域への人材投資等が予定されていますが、通期でも売上・利益共に予算を超過する見込みですので、業績予想を上記の通り修正することとしました。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の終息時期等、様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

## 2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	0.00	20.00	20.00
今回予想	0.00	22.00	22.00
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	0.00	18.00	18.00

### 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと考えております。配当につきましては、安定した配当を継続して実施するとともに、将来の事業展開と経営体力の強化のために必要な内部留保を確保することを基本としつつ、2020年7月に公表しております中期3カ年経営計画において掲げている配当性向目標水準(30%以上)を考慮したうえで実施していく方針であります。

この方針のもと、2022年3月期の期末配当金につきましては、当社グループ業績が、前回予想を超過する見込みであることから、前回予想の20円から2円積み増しし、1株につき22円とさせていただく予定です。

以上